平成28年度科学研究費助成事業の配分について公表しました。

平成28年度の科学研究費助成事業（科学研究費補助金及び学術研究助成基金助成金）について、ピア・レビューによる厳正な審査を経て、約３万件を新規採択し、新規採択分と継続分を合わせて総額約2,176億円（直接経費・間接経費）を配分しました。

また、近年の動向を踏まえ、科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会長（西尾章治郎・大阪大学総長）の「学術研究の持続的発展のために（談話）」を併せて発表しました。

区　分	研究課題数			配分額（百万円）	1課題あたりの配分額	
	応募件数（件）	採択件数（件）	採択率（%）		平均（千円）	最高（千円）
新規採択のみ	(107,073) 108,751	(30,184) 30,320	(28.2) 27.9	(67,460) 68,398	(2,235) 2,256	(180,700) 170,700
新規採択＋継続分	(158,099) 161,539	(80,995) 82,879	－	(167,211) 168,761	(2,064) 2,036	(211,300) 170,700

※配分額は直接経費
※（　）内は前年度を示す。
※基金化した研究種目については、平成28年度の当初計画に対する配分額を計上している。
※「新学術領域研究（研究領域提案型）『学術研究支援基盤形成』」、「特設分野研究」、「特別研究促進費」、「国際共同研究加速基金（国際共同研究強化・帰国発展研究）」、「特設分野研究基金」及び「特定奨励費」は除く。

詳細なデータについては、下記のホームページをご覧下さい。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1296236.htm

審査委員を表彰しました。

日本学術振興会の学術システム研究センターでは、科研費の審査結果の検証を行い、翌年度の審査委員の選考に適切に反映させています。

このたび、平成28年度の審査を行った第１段（書面）審査委員約5,700名の中から有意義な審査意見を付していただいた審査委員268名を選考し表彰しました。表彰については、本会のホームページ等を通じて公表するとともに賞状を贈呈しました。

●掲載ホームページアドレス
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/26_hyosho/index.html

平成29年度ひらめき☆ときめきサイエンスの実施プログラムを募集します。

募集内容、応募手続きについては、募集要項をご覧ください。

●掲載ホームページアドレス

https://www.jsps.go.jp/hirameki/boshu.html

募集の概要

Ⅰ．事業の目的

・我が国の将来を担う児童・生徒を対象として、若者の科学的好奇心を刺激してひらめき、ときめく心の豊かさと知的創造性を育むこと

・科学研究費助成事業（以下、「科研費」という。）による研究について、その中に含まれる科学の興味深さや面白さを分かりやすく発信すること

・上記を踏まえ、学術の文化的価値及び社会的重要性を社会・国民に示し、学術の振興を図ること

Ⅱ．応募資格

これまでに、科研費の研究代表者として研究を実施したことがある研究者が所属している機関の長とします。

Ⅲ．募集するプログラム

以下の項目をすべて満たすプログラムを募集します。

１）小学５・６年生、中学生及び高校生のいずれかが対象。

２）科研費による研究に関わる基礎的な内容をより分かりやすく伝え、科学に興味を抱けるような企画。

３）機関の長を中心とした組織的な取組。

４）平成29年７月下旬～平成30年１月末の間の開催。

小・中・高校生のための
プログラム

ひらめき☆ときめきサイエンス
～ようこそ大学の研究室へ～

KAKENHI

「ひらめき☆ときめきサイエンス」とは、大学や研究機関で「科研費」により行われている最先端の研究成果に、小学５・６年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらうプログラムです。

○平成27年度に実施されたプログラムの事例紹介

『ロボットで探る昆虫の感覚と脳と行動の不思議』

神崎　亮平（東京大学・先端科学技術研究センター・教授）

カイコガやロボットを使った実習により、生物の感覚や脳の動き・行動のしくみについて学びました。

『抗がん剤を作ってマウスに投与してみよう』

小谷　明（金沢大学・医薬保健研究域薬学系・教授）

抗がん剤を作製し、マウスに投与することで効果を確かめる体験を通して、薬学の重要性について学びました。

『プロジェクションマッピングに映える連句アニメーションを創作してみよう！！』

高田　伸彦（金沢学院大学・基礎教育機構・教授）

俳句・連句からイメージしてアニメーションを制作し、プロジェクションマッピングの手法で表現することを体験しました。

平成28年度も、多くの体験プログラムを実施しています。
「ひらめき☆ときめきサイエンス」の詳細は、日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」ホームページ（https://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html）をご覧ください。

ひら☆とき　検索